

語る、革新的な“ものづくり力”

グローバル化を生き抜く ものづくりへの挑戦

このほど経済産業省にて「ものづくり日本大賞座談会」が開かれた。ものづくり日本大賞は、製造・生産の現場で活躍する人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰する制度。2005年より2年おきに実施され、今回の2015年で6回目を迎え、現在、応募申請を受け付けている。座談会には過去に内閣総理大臣賞を受賞した4氏が集い、経済産業省製造産業局 黒田篤郎局長と交えて意見が交換された。進行は第2回から選考有識者委員として参加しているジャーナリストの三神万里子氏が務めた。

現場を担う個人にスポットを当てる

三神 ものづくり日本大賞は、優れたインベションが日本全国どこにいても湧き上がっているのを感じる。高い発想力を持つ優秀な人材が、表彰の対象にはなっていない。日本に開拓した当事者個人、日本の競争力の源泉は人材に尽きるという議論をよく聞きますが、それを議論の終極点とせず、現在進行形のことから、現在進行形のことから、人材の育成や確保、その育成にスポットライトを当てる。日本にとって非常に本質的な意味でも、ものづくりであるならば捉えてきました。

黒田 日本の産業と文化を支えてきたものづくりを継承・発展させるためにも、ものづくりを支える人材の意欲を高め、その存在を広く社会に知らしめることが、ものづくり日本大賞の目的です。経済産業省、文部科学省、国土交通省、厚生労働省の4省が連携して実施しており、経産省においては「製造・生産プロセスの革新」「従来のない画期的な製品・部品と素材の開発・実用化」「伝統的な技術の応用」「海外展開」「ものづくり人材の育成支援」の5分野で貢献した方々を表彰してまいります。経産省関連では過去5回の累計で約2000件の応募をいただきました。31件の内閣総理大臣賞と84件の経済産業大臣賞を選定しました。本日お越しいただいた4名の方は、いずれも素晴らしい技術者であり、また時代の変化を捉えた卓越したアイデアで、ものづくり産業の最前線で活躍されています。本年12月15日まで第6回目の募集をしておりますが、いよいよ最後となる応募者の皆さまに熱いメッセージを頂きたいと思っております。

梅澤 私どもは「小さな型



三神 万里子氏
進行役 選考有識者委員



黒田 篤郎
経済産業省 製造産業局長



開発に関わった従業員、 応援してくれる人に 報いるためにも賞への応募を

梅澤 大きな課題をクリアするために、製造現場で働く人たちに、賞を届ける。賞は、開発に関わった従業員、応援してくれる人に報いるためにも賞への応募を。賞は、開発に関わった従業員、応援してくれる人に報いるためにも賞への応募を。賞は、開発に関わった従業員、応援してくれる人に報いるためにも賞への応募を。

小松 私の父も梅澤さまのようにならなう。賞は、開発に関わった従業員、応援してくれる人に報いるためにも賞への応募を。賞は、開発に関わった従業員、応援してくれる人に報いるためにも賞への応募を。

三神 国内生産が難しくなってきた。海外市場を開拓しよう。賞は、開発に関わった従業員、応援してくれる人に報いるためにも賞への応募を。賞は、開発に関わった従業員、応援してくれる人に報いるためにも賞への応募を。

アヨーロッパ圏、インドでの採用が進んでおり、テックリソースを確保しているという状況です。三神 この受賞案件は、ものづくりに関する多面的なソリューションが詰まっています。ものづくりに関する多面的なソリューションが詰まっています。ものづくりに関する多面的なソリューションが詰まっています。

「産業・社会を支えるものづくり」(製造・生産プロセス部門/製品・技術開発部門/伝統技術の応用部門/海外展開部門)
「ものづくりの将来を担う高度な技術・技能」(青少年支援部門)

応募期間 平成26年10月1日(水)～平成26年12月15日(月)

第6回ものづくり日本大賞応募専用ホームページ
<http://www.monodzukuri.meti.go.jp/>

ものづくりを担う日本の企業の皆様、ふるってご応募ください。

ものづくり日本大賞

第6回

集まれ、日本の原動力。

概要

ものづくり日本大賞は、右記(1)～(4)の4分野において、特に優れた成果をなした個人、グループ等を表彰します。

表彰の対象となる4つの分野のうち、「(1)産業・社会を支えるものづくり」及び「(4)ものづくりの将来を担う高度な技術・技能」のうち「③青少年支援部門」について受賞候補者の募集を行います。応募のあった候補者の中から受賞者の選考を行い、表彰します。

受賞効果

～受賞企業アンケートより～

社内外に大きな反響、高い効果

従業員の意欲向上	92.5%
マスコミからの取材が増加	82.7%
企業信用力の向上	81.6%
売上高の増加などの業績向上	58.4%
求人・採用面でのメリット	48.0%

全体

受賞者のほとんどが受賞効果の高さを実感。ベスト3は「従業員の意欲向上」の92.5%を筆頭に、「マスコミからの取材が増加」「企業信用力の向上」と高い割合で続いています。

中小企業

中小企業受賞者の約6割が売上高増等の業績向上に結び付いたと回答。企業信用力の向上については8割以上、求人・採用面でのメリットも5割近くとの結果が出ています。

ものづくり日本大賞受賞者が



梅澤 隆男氏

株式会社ミツバ
加工技術センター OSI-UMSS技術開発
主任研究員 現代の名工
(受賞時/株式会社大崎電機製作所)

製造・生産プロセス部門 内閣総理大臣賞受賞

一般的にはレンズやハウジングなど個々に成形した多数の部品を組み合わせる自動車用ランプにおいて、同社は各部品の成形加工、組み立て、接合、さらに成膜までを同一の成形型内で行う画期的な製造システムを確立。専用の大規模設備、部品の在庫が不要となり、納期の大幅短縮も実現。成形加工の現場に革命をもたらした。



[ミツバ]
URL > <http://www.mitsuba.co.jp/>
[大崎電機製作所]
URL > <http://oew.co.jp/index.php?id=2/>

小松 人材育成の裾野を広げるために、ポテンシャルの高い技術者をまとめる必要がある。そのためには、ものづくり日本大賞の認知度を向上させ、栄えある賞として継続させていくことが大切である。受賞者一人である私にも、賞の名に恥じない企業活動を行い、賞の認知度を向上に努めていく責任があります。



竹田 正俊氏

株式会社クロスエフェクト
代表取締役

製品・技術開発部門 内閣総理大臣賞受賞

自社のコア技術である高速光造形技術とハイブリッド真空注型技術を駆使し、本物に酷似した精密性・質感・強度を有するリアルな「心臓シミュレーター」の開発に成功。オーダーメイドの術前モデルでの緻密な検討を可能にし、手術治療の成功を後押ししている。また、若手執刀医の訓練教材用モデルも開発した。



URL > <http://www.xeffect.com/>

黒田 今回お越しいただいて、皆さまはサプライチェーンに期待されるグローバルな企業

黒田 今回お越しいただいて、皆さまはサプライチェーンに期待されるグローバルな企業

竹田 当社の場合、取材数は前年比で1.5倍以上、売上は1割程度増加しました。連携先をはじめ取引先への影響は大きく、新製品や新サービスに対する信頼性を獲得するにはとても良い機会になりました。特に病院などの連携先の協力姿勢が以前より鮮明となり、医工連携が予想以上に進みました。そもそも賞に応募した動機は、先天性の心疾患は100人に1人と非常に稀な疾患で発症して、赤ちゃんと一緒に活動が火急の問題であることとを広く知ってもらいたかったという点にあります。本事業は病院の先生方の熱い思いに動かされる形でスタートしましたが、現在は従業員一同、ビジネス以前

業績向上は約半数採用面でのメリットも黒田 皆さまがさまざまな思いで応募されたこと、そして受賞効果も少なからずとを感謝深くお聞きしました。過去5回の受賞企業約150社にアンケートを取っていただいたところ、売上増など業績が向上した

小泉 企業は今までと同じやり方をしている、同じような人材しか育たないというのではないのでしょうか。エンジニアは実はアナログ的な経験に基づいた試作に頼って開発が進められていた。今後は技術で勝つだけでは、開発スピードも上げなければ、優位性は保てません。そのためにもデータベースを基にしたシミュレーションに頼った開発

メディアへの露出が増え格段に向上しました

黒田 わが国の製造業には、生産年齢人口の減少による人材不足を見据えて一人当たりの生産性を高めて、付加価値の高い製品を生産することが求められています。そのためには従来のものでない現場を超えて、幅広い人材育成を行うことが重要です。例えば、バリエーション全体を意識した研究開発ができるインベシヨンプランや、企業戦略の多様化やグローバル化の時代を生き抜くためのマネジメント人材へのニーズが高まっています。経産省は厚労省など他省とも連携し、ものづくりを取り組んで人材の育成に取り組んできています。

黒田 わが国の製造業には、生産年齢人口の減少による人材不足を見据えて一人当たりの生産性を高めて、付加価値の高い製品を生産することが求められています。そのためには従来のものでない現場を超えて、幅広い人材育成を行うことが重要です。例えば、バリエーション全体を意識した研究開発ができるインベシヨンプランや、企業戦略の多様化やグローバル化の時代を生き抜くためのマネジメント人材へのニーズが高まっています。経産省は厚労省など他省とも連携し、ものづくりを取り組んで人材の育成に取り組んできています。

黒田 わが国の製造業には、生産年齢人口の減少による人材不足を見据えて一人当たりの生産性を高めて、付加価値の高い製品を生産することが求められています。そのためには従来のものでない現場を超えて、幅広い人材育成を行うことが重要です。例えば、バリエーション全体を意識した研究開発ができるインベシヨンプランや、企業戦略の多様化やグローバル化の時代を生き抜くためのマネジメント人材へのニーズが高まっています。経産省は厚労省など他省とも連携し、ものづくりを取り組んで人材の育成に取り組んできています。

黒田 わが国の製造業には、生産年齢人口の減少による人材不足を見据えて一人当たりの生産性を高めて、付加価値の高い製品を生産することが求められています。そのためには従来のものでない現場を超えて、幅広い人材育成を行うことが重要です。例えば、バリエーション全体を意識した研究開発ができるインベシヨンプランや、企業戦略の多様化やグローバル化の時代を生き抜くためのマネジメント人材へのニーズが高まっています。経産省は厚労省など他省とも連携し、ものづくりを取り組んで人材の育成に取り組んできています。

黒田 わが国の製造業には、生産年齢人口の減少による人材不足を見据えて一人当たりの生産性を高めて、付加価値の高い製品を生産することが求められています。そのためには従来のものでない現場を超えて、幅広い人材育成を行うことが重要です。例えば、バリエーション全体を意識した研究開発ができるインベシヨンプランや、企業戦略の多様化やグローバル化の時代を生き抜くためのマネジメント人材へのニーズが高まっています。経産省は厚労省など他省とも連携し、ものづくりを取り組んで人材の育成に取り組んできています。

製品・技術開発部門 内閣総理大臣賞受賞

従来機器に比べ温暖化係数が3分の1となる次世代省エネ冷媒(HFC32)を採用したエアコンを世界で初めて開発。温暖化影響を75%削減。冷媒から空調機開発まで行う唯一の空調専門メーカーとして培ったノウハウに加え、サプライヤーと一丸となって、コスト競争力のある量産体制を実現した。

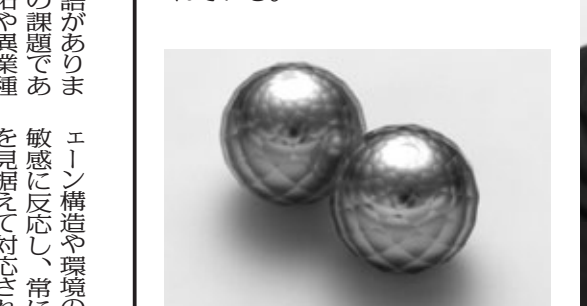


URL > <http://www.daikin.co.jp/>

黒田 わが国の製造業には、生産年齢人口の減少による人材不足を見据えて一人当たりの生産性を高めて、付加価値の高い製品を生産することが求められています。そのためには従来のものでない現場を超えて、幅広い人材育成を行うことが重要です。例えば、バリエーション全体を意識した研究開発ができるインベシヨンプランや、企業戦略の多様化やグローバル化の時代を生き抜くためのマネジメント人材へのニーズが高まっています。経産省は厚労省など他省とも連携し、ものづくりを取り組んで人材の育成に取り組んできています。

伝統技術の応用部門 内閣総理大臣賞受賞

伝統的なダイヤモンド研磨技術を生かし、本真珠にカットを施した「華真珠」を開発。元の真珠とはまったく異なる輝きと質感に仕上げる。材料としての生産に加え、ネックレスなど加工製品も手がける。「真珠は丸いもの」という固定観念に縛られない海外のジュエリーメーカーから高く評価されている。



URL > <http://www.hanashinju.tokyo/>

黒田 わが国の製造業には、生産年齢人口の減少による人材不足を見据えて一人当たりの生産性を高めて、付加価値の高い製品を生産することが求められています。そのためには従来のものでない現場を超えて、幅広い人材育成を行うことが重要です。例えば、バリエーション全体を意識した研究開発ができるインベシヨンプランや、企業戦略の多様化やグローバル化の時代を生き抜くためのマネジメント人材へのニーズが高まっています。経産省は厚労省など他省とも連携し、ものづくりを取り組んで人材の育成に取り組んできています。



小泉 淳氏

ダイキン工業株式会社 滋賀製作所
空調生産本部
小型RA商品グループリーダー 主任技師

黒田 わが国の製造業には、生産年齢人口の減少による人材不足を見据えて一人当たりの生産性を高めて、付加価値の高い製品を生産することが求められています。そのためには従来のものでない現場を超えて、幅広い人材育成を行うことが重要です。例えば、バリエーション全体を意識した研究開発ができるインベシヨンプランや、企業戦略の多様化やグローバル化の時代を生き抜くためのマネジメント人材へのニーズが高まっています。経産省は厚労省など他省とも連携し、ものづくりを取り組んで人材の育成に取り組んできています。



小松 一仁氏

株式会社小松ダイヤモンド工業所
代表取締役
(受賞時/ 有限会社小松ダイヤモンド工業所)

第1回～第5回 ものづくり日本大賞 〈内閣総理大臣賞〉受賞一覧

受賞回	案件名	代表者所属企業
第1回	国内繊維産業の復活を目指す「世界初」の「多品種小ロット織物生産システム」	株式会社山商店
	知能ロボットによる長時間連続機械加工システム	フナック株式会社
	世界初エレクトロサイクルの開発・実用化	株式会社デンソー
	水族館の概念を変えたアクリルパネル製作技術の開発	日プラ株式会社
	伝統的毛筆製造技術を応用した新製品「化粧筆」を開発・提案し、国内外に新市場を開拓	株式会社白堂
	金銀箔粉の伝統的な製造・表面処理加工技術を生かした導電塗料用銅粉の開発	福田金属箔粉工業株式会社
第2回	小さな型内に大きな工場「成型内成膜システム技術」	株式会社大崎電機製作所
	ナノサイズ微細粒子を利用した厚板高級構造用鋼の製造方法	新日鐵住金株式会社 ※旧住友金属工業株式会社
	任意局面の鏡を研削加工のみで高速に仕上げる超精密工作機械を開発し実用化	株式会社ナガセインテック
	特殊印刷方式による球曲面への高精度印刷技術、及びこれを応用した多機能技術	株式会社秀峰
第3回	不焼成漆喰セラミックの開発	田川産業株式会社
	鋳物に比べCO2排出量1/10、環境汚染なし、リードタイム1/15の匠フレーム構造	ヤマザキマザックオートニクス株式会社 フェニックス研究所
	耐食性を飛躍的に向上させた環境適合燃料タンク用鋼板(エココート-S)の開発	新日鐵住金株式会社 ※旧新日本製鐵株式会社
	世界初の脳神経外科用手術用顕微鏡スタンドの設計・開発・事業化	三鷹光器株式会社
	100ミクロンの血管縫合を可能にし、外科手術に進化をもたらす世界最小針糸を開発	株式会社河野製作所
宝飾ダイヤモンド研磨を応用し開発した「華真珠」を継承・進化させ世界に新市場を形成	株式会社小松ダイヤモンド工業所	

受賞回	案件名	代表者所属企業
第4回	劣質製鉄ダストを原料として鉄鋼生産を行うリサイクルプロセスの開発	新日鐵住金株式会社 ※旧新日本製鐵株式会社
	電子部品を内蔵した基板を1回のプレスで完結させる製造プロセスの開発	株式会社デンソー
	世界の常識を覆した「プロテオグリカン」製造方法の開発	バイオマテックジャパン株式会社
	大型液晶パネル量産を可能としたマルチレンズ・アレー方式露光装置の開発	株式会社ニコン
第5回	レアメタルを画期的に削減した次世代ステンレスの開発	新日鐵住金ステンレス株式会社
	超極細糸糸を使用した世界一薄い絹織物の開発	資栄織物株式会社
	有田焼の伝統技術を応用した高輝度発光蓄光による製品開発	コードモエナジー株式会社
	液晶ディスプレイの世界的普及を支えた光学フィルムの高度生産プロセスの開発	富士フィルム株式会社
	業界最短の製造時間で高品質の豆乳製造を実現した豆乳製造方法	株式会社ワイエスピー
	自家培養軟骨ジャックの製品化 一わが国発の再生医療製品の現現一	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
	世界初、裏面照射型CMOSイメージセンサーの開発と量産化	ソニーセミコンダクタ株式会社
地球温暖化と日本のものづくり競争力強化に貢献する次世代エアコンの開発	ダイキン工業株式会社	
再現力のある精密臓器シミュレーター	株式会社クロスエフェクト	
洪水から人を守る無動力自動開閉樋門ゲート(オートゲート)の開発	旭イノベーション株式会社	
伝統的箔押し印刷技術を応用し、装飾性や医薬用途に優れた高機能フィルム製品群を開発	ツキオカフィルム工業株式会社	

内閣総理大臣賞に加え、経済産業大臣賞:84件、特別賞:49件、優秀賞:319件を選定。受賞企業の詳細は「ものづくり日本大賞」ホームページ内の「過去の受賞」をご覧ください。URL > <http://www.monodzukuri.meti.go.jp/>